



没後 70 年 南薫造展 I 「瀬戸内の魅力」展の開催及び感謝状の贈呈式について

呉市が生んだ日本近代洋画の巨匠・南薫造(みなみ・くんぞう)。その生家とアトリエが、呉市安浦町で安浦町歴史民俗資料館(南薫造記念館)として一般公開されています。2020(令和2)年の南薫造 没後 70 年を記念して、三部構成の特別展を開催します。これに先立ち、南薫造の遺族である南建(みなみけん)氏から南薫造作品(絵画等 81 点, 美術資料 5 点)の贈呈を受けました。ついては、次のとおり特別展を開催し、開会式において感謝状の贈呈式を行います。

■近年寄贈された作品を中心に、初公開を含む約 100 点を展示・公開します!

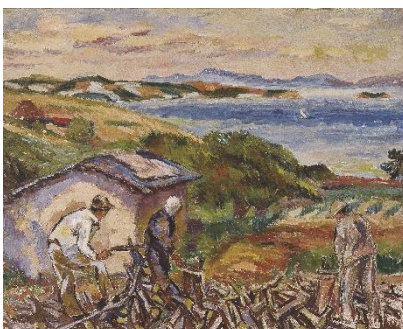
・没後 70 年 南薫造展 I 瀬戸内の魅力

「印象派風」と評される、輝く光に満ちた色彩で多くの作品を残した南薫造。中でもとりわけ好んだのが、郷里・瀬戸内の風景でした。穏やかな青い海, 美しい島影, 波に漂う帆船, 豊かに実る大地やそこで働く人々などを, 詩情あふれる筆致で描きました。

本展では「瀬戸内」をテーマに、南薫造が愛した瀬戸内の魅力をひもときます。



南薫造《風早近傍》



南薫造《まき割り》



南薫造《須波風景》

- 1 会 期 令和2年10月3日(日)～令和3年1月31日(日)
- 2 会 場 安浦町歴史民俗資料館(南薫造記念館)
- 3 開館時間 9:00～16:30
- 4 展示内容 南薫造 絵画作品 約40点
- 5 観覧料 一般200円, 高校生120円, 小中学生80円

(呉市いきいきパス保持者, 呉市及び広島中央地域連携中枢都市圏に在住または通学の高校生以下無料)

- 6 今後の予定 没後70年南薫造展Ⅱ 令和3年2月4日(木)～5月30日(日)
没後70年南薫造展Ⅲ 令和3年6月3日(木)～9月26日(日)

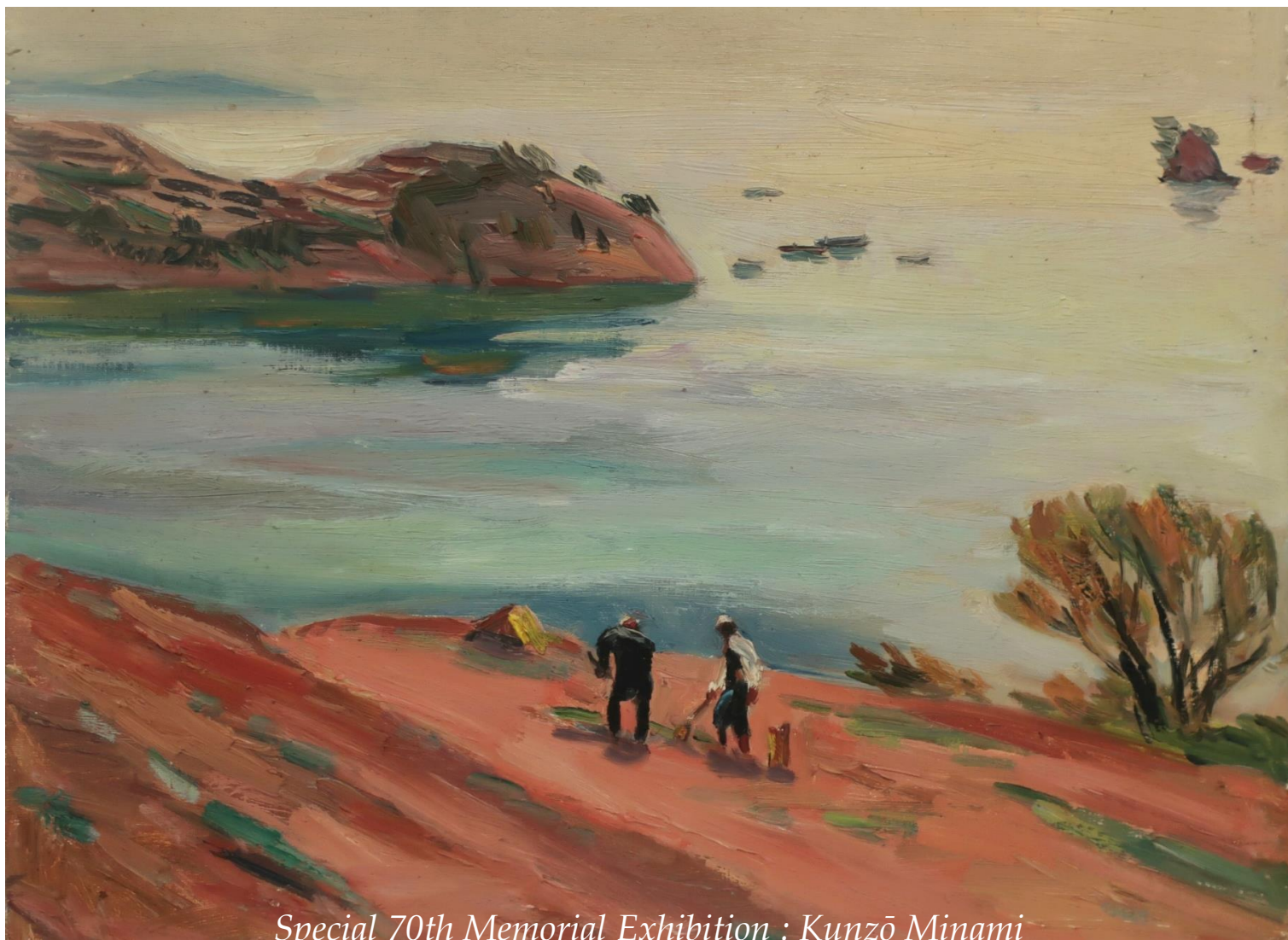
7. 開会式

- 1 日時 令和2年10月3日(土)9時から (終了:10時(予定))
- 2 場所 安浦歴史民俗資料館(南薫造記念館)
- 3 内容
 - (1) 開式
 - (2) 出席者紹介
 - (3) 市長挨拶
 - (4) 来賓挨拶
 - (5) 感謝状贈呈
 - (6) 寄附者挨拶
 - (7) テープカット
 - (8) 閉式

※閉式後、記念撮影・作品解説を行います。

没後70年 南薫造展 I

—瀬戸内の魅力—



Special 70th Memorial Exhibition : Kunzō Minami

南薫造《風早近傍》1948年

2020.10.3(土) - 2021.1.31(日)

開館時間：9:00-16:30

休館日：火曜日(11/3は開館, 11/4, 12/27-1/5は休館)

観覧料：一般200(160)円、高校生120(100)円、小・中学生80(60)円

* ()内は20名以上の団体料金。呉市に在住、または通学する小・中・高校生は無料。

* 呉市いきいきパスをお持ちの方、障害者手帳等をお持ちの方は無料(要証明書)

* 広島中央地域連携中枢都市圏(竹原市・東広島市・江田島市・熊野町・海田町・坂町・大崎上島町)に
在住または通学する小・中・高校生は無料。

南薫造記念館

KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM

〒737-2519

呉市安浦町内海南2丁目13-10

TEL(0823)84-6421

瀬戸内の魅力

広島県賀茂郡内海村(現在の呉市安浦町)に生まれた南薫造(1883-1950)は、東京美術学校(現在の東京藝術大学)で西洋画を学び、卒業後はイギリスに留学、フランスやヨーロッパ諸国を巡って研鑽を積みました。「印象派風」と評される、輝く光に満ちた色彩で多くの作品を残しましたが、中でもとりわけ好んだのが瀬戸内の風景でした。穏やかな青い海、美しい島影、波に漂う帆船、豊かに実る大地やそこで働く人々などを、詩情あふれる筆致でおおらかに描きました。

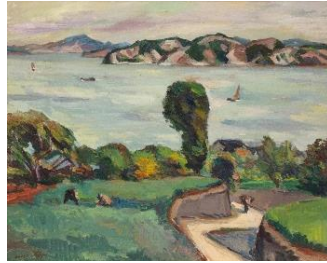
2020(令和2)年は、南薫造の没後70年という節目の年にあたります。南薫造記念館では、近年収集した作品を中心に三部構成の特別展を開催します。第1期のテーマは「瀬戸内」。南が愛した瀬戸内の魅力をひもときます。



1 《農村風景Ⅱ》昭和初期頃



2 《まき割り》1946年頃
呉市立安浦小学校蔵



3 《須波風景》1946年



4 《海上の漁船》1930年頃

1～4南薫造作、所蔵の表記のないものは南薫造記念館蔵

小企画① 南薫造のパレット-画材から筆記用具まで-
10月28日(水)-2021年3月15日(月)
南薫造が愛用したパレットを初公開するほか、イーゼル、絵具、硯、墨、鉛筆、パステル等様々な画材を展示します。

小企画② 南薫造水絵集 -画集で見る水彩画-
8月26日(水)-12月21日(月)
大正7年に発行された『南薫造水絵集』とその関連資料を展示します。

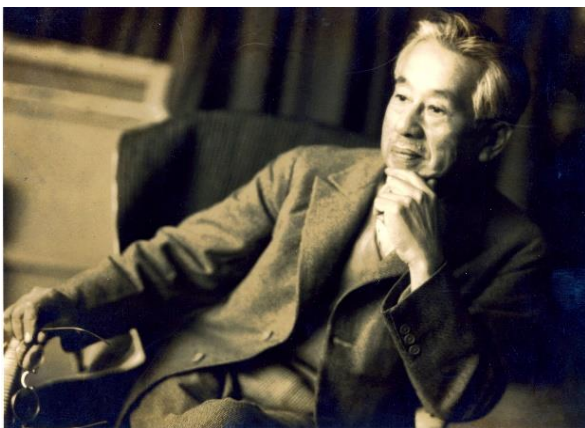
小企画③ 画家の自筆原稿を読む②-『大久保の逃げ水』ほか-
7月29日(水)-2021年2月22日(月)
南薫造が実際に体験した夏の自然現象「逃げ水」について書いた自筆原稿などを展示します。

【関連イベント】

①お気に入りの作品に投票しよう！(会期中随時開催)
心に残る南作品に投票してください。
投票してくれた方の中から抽選で、南薫造に関する書籍をプレゼントします。

②ガーデン・コンサート
日時：10月31日(土)13:30～
演奏者：宮原律さん(フルート)
参加費：無料(入館料が必要) 定員：20名(先着)

③スライドトーク&アートカフェ
日時：11月1日(日)14:00～
解説：学芸員 カフェ協力：安浦町まちづくり協議会
参加費：1人500円(入館料込)
申込み：電話0823-25-3462 定員：15名(先着)



南薫造

Kunzō Minami

南薫造(1883-1950)は、医者の子として広島県賀茂郡内海町(現・呉市安浦町)に生まれる。東京美術学校(現・東京藝術大学)に学び、卒業後はイギリスに留学。帰国後は文展、帝展などで入選を重ね、優雅で温かな画風が高く評価され、帝国芸術院会員や帝室技芸員として活躍した。母校・東京美術学校では教授として後進の指導に当たり、多くの芸術家との交流を通じて日本洋画の発展に貢献した。戦時中から郷里・安浦に居を移し、戦後は広島美術の発展に尽力しながら、瀬戸内の風景を多く残した。



【アクセス】

■車利用の場合
呉市内から国道185号線を竹原方面へ。クリアライン
呉ICより約60分。敷地内の無料駐車場をご利用下さい。

■JR利用の場合
JR呉線安浦駅下車、徒歩約900m

南薫造記念館

KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM



@minami_kunzo

〒737-2519 呉市安浦町内海南2丁目13-10

TEL(0823)84-6421